

## 木曾岬町立木曾岬小学校

木曾岬町は、木曾川の最下流部に位置しています。木曾岬町立木曾岬小学校では、上流部の森林によって下流地域が支えられていることを学ぶために、平成26年7月16日(水)、17日(木)、5年生51人が木曾川源流(長野県木祖村)を訪れ、野外体験活動を実施しました。

1日目の16日は、木祖村の水木沢天然林でトレッキングを行いました。子どもたちは、現地NPOガイドの案内により、山道を歩きながら、人工林と天然林との違いや様々な木の姿を間近で感じました。トレッキングの後は、宿泊場所の「こだまの森」で、飯盒炊さんやキャンプファイヤーを体験しました。

2日目の17日は、クラスごとに分かれ、味噌川ダム(奥木曾湖)でカヌー体験、こだまの森でマスづかみ体験を行いました。カヌー体験では、森林に囲まれたダムで、豊かな自然を感じながら、自分の力でカヌーを操ることができるようになりました。マスづかみ体験では、水の中に足をつけて次々とマスをつかまえた後、マスを塩焼きにいただきました。

子どもたちは、木曾川源流を訪れることによって、木曾岬町の自然環境や農水産業が、上流の豊かな森林によって育まれていることを感じる事ができました。また、町内には森林がないこともあり、子どもたちが、森林や自然に親しむ貴重な機会となりました。



水木沢天然林でのトレッキング



キャンプファイヤー



カヌー体験

時間	2日間
場所	長野県木曾郡木祖村(木曾川源流の里)
対象者・人数	5年生51人
講師	現地NPOガイド
内容	・森林でのトレッキング ・キャンプファイヤー ・カヌー体験、マスづかみ体験
備考	「みえ森と緑の県民税」市町交付金を活用した町事業「森林環境教育事業」